

三矢の訓

令和3年7月16日 発行



いよいよ夏休み！(7/20～8/29)



2年 生き物をさがそう

4月に始まった1学期も、7/19(月)が終業式です。子どもたちの楽しみにしている夏休みがやってきます。今年の夏休みは41日間です。この夏休みを、1学期に学んだことの定着(忘れないようにすること、磨きをかけること)や活用、長期の休みだからこそできる体験や学びの機会として有意義な休みにしてほしいと思っています。

夏休みには、大きく2つのよさがあります。

①1学期に学んだことを定着させる(確かなものにする)ための期間にできる！

子ども達は、4月からそれぞれの学年で新しいことを学んできました。そして、9月にはまた新たなことを学びます。間に休みがなければ、矢継ぎ早にどんどん新しいことが入ってくることになります。一度インターバルをおくことで、習ったことを定着



3年 書写

させる機会がもてるというわけです。「習ったことを夏休みの間に忘れないようにしなさい」とも言われますが、ここはポジティブにとらえ「習ったことを定着させる」チャンスと考えると、宿題などに取り組んでもらいたいと思います。

②長い休みならではの体験をさせることができる！

長期の休みだからできることということ、旅行やキャンプなどの行事を考えがちですが、コロナの終息も見えない今、生き物や文化などの研究をしてみたり、長い本を読むことやテーマを決めて本を読むことに挑戦してみたり、家の仕事(手伝い、役割など)を継続的に取り組んだりするよい機会と捉えるのがよいと思います。



クラブ活動

長い期間をかけて取り組むには、時間をコントロールするということが必要になります。41日間という長い時間を上手に使いながら、自分でしっかり生活をつくっていくという経験も、夏休みだからこそできることです。

長い夏休みの有意義な過ごし方・計画を、是非ともお子さんと家族で、楽しみながら一緒に話し合ってくださいと思います。学年(発達の様子)や経験に合わせて、次第に自分で計画・実行できるようになることを目指すとよいでしょう。

そこで、計画の立て方のヒントを次ページで紹介します。

裏もあります

夏休みの計画の立て方 ヒント！

夏休みをいくつかの期間に分けて考える

長い休みに取り組むこと（研究、読書、手伝い、体づくり、音楽、美術など）を決めていても、41日間ずっと繰り返し続けるのは難しいものです。ゆっくり過ごすことも大事にしてほしいと思います。ところが、夏休みはあっという間に過ぎてしまい、8月30日の始業式が来てしまいます。「え？、もう夏休みが終わるの？」「新学期が辛い」となるとは、せっかくの夏休みも悲しく思えてきます。

夏休みは6週間あります。6は、2でも3でも6でも割り切れます。3つに分けて「前・中・後」で計画を考えたり、6つに分けて1週間ごとに計画を立てておいたりすることもできます。どれも難しいようなら8月下旬だけでも、計画しておくことで夏休みの有意義さがプラスされます。

特に最後の1週間は生活のリズムを戻すために重要で、学校のリズムに合わせた生活を、家族で取り戻しておくことが大事です。

	月	火	水	木	金	土	日
7月	19	20	21	22	23	24	25
	終業式						
8月	26	27	28	29	30	31	01
	02	03	04	05	06	07	08
	09	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
30	始業式						2学期は、8月30日からです。

わが子 よその子 の 別なく声かけを

夏休みは、子どもたちが地域や家庭で過ごすことが増えます。日々の暮らしの中で、出かけた先々で、子どもの姿を目にすることが増えるでしょう。見かけたら、ぜひわが子よその子の別なく、声をかけてやってください。



登校の様子

子どもにとっては毎日が、「自立」に向けての見習い（成長）期間中です。善い行いだけでなく、好ましくない行いをしたとしても当然です。危ない場面もあるかもしれません。善い行いを見たら、気恥ずかしいかもしれませんが「いいですね」と声をかけたり、好ましくない行いや危ない場面などを見かけたら「交通ルールを守りましょうね」「声が大きすぎませんか」「遊び方は大丈夫？」「一人で大丈夫？」などと声をかけたりしてみてください。必ずしも、子どもが行動を改めるまで言い続けなくてもかまいません。子どもから、特に反応がなくてもかまいません。声をかけることが大切です。放っておくのが一番かわいそうなことです。善い行いの子ども、好ましくない行いの子ども。わが子も、よその子も。

7月2日 地域協働学校運営協議会

会長の連合町内会長：永井さんをはじめ、5名の委員の方々にお越しいただき開催いたしました。実際に授業の様子を参観していただき、その後、伊島小学校の教育についてご協議いただきました。「子どもたちが落ち着いている」「コロナの中、よく工夫して学習を進めている」「一人一台のタブレットが入ったが、パソコン室はどうなるのか」「つよく、ただしく、あたたかくの『あたたかく』を大事にしてほしい」など、たくさんのご意見や質問をいただきました。いただいたご意見を学校運営に生かしていきたいと思えます。